



NPO 法人 びな・パートナーシップ・ひろば

(略称:びなシップ)

ニュースレター 第15号

2022年11月24日発行(年2回発行)

子ども

理事長 阿部 美和子

子どものSOSのメッセージはダイレクトな場合ばかりでは無い。

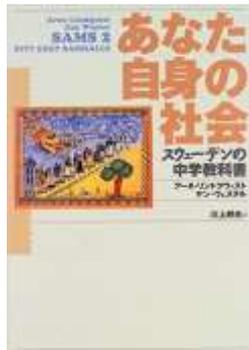
子どもたちは大人の反応を見ている。特に困難さを抱えていたり、傷つき体験を経験した子どもは、大人の想像を超えて、敏感に時に痛々しいほどに、大人の一挙手一投足に注目しています。

人は生まれながらにして『怒られたい』と思うことは考えづらいです。赤ちゃんであっても「可愛いね」「たくさん(ミルクを)飲めたね」……とその場に合った内容・タイミングでにこやかに声をかけられることで、信頼できる人の存在を感じ、『こうしたら、あの声や笑顔が返ってくる』と学習していくのだと考えます。

困った行動を起こすには意味があるのです。『身辺整理ができない』……できる状況が整っているだろうか？『お友だちを叩いた』……叩く前にどんなことがあったら？『走り回る』……なぜ走り回るのだろうか？ その子のこれまでの生育歴を含めて、慎重にみていく必要があると思います。

「いつまで(道具を)出してるの！」「叩かない！」「走らない！」とその行動だけを叱っているのは百害あって一利無しだろう。

この秋は特に子どもたちから多くのことを教えられた。2005年2月23日(水)の朝日新聞にも取り上げられた記事の一節を挙げ、今一度基本に立ち戻ってみたいと思う。



「あなた自身の社会 スウェーデンの中学教科書」から抜粋
川上邦夫訳 新評論

批判ばかりされた子どもは
非難することをおぼえる
殴られて大きくなった子どもは
力にたよることをおぼえる
笑いものにされた子どもは
ものを言わずにいることをおぼえる
皮肉にさらされた子どもは
鈍い良心のもちぬしとなる
しかし、激励を受けた子どもは
自信をおぼえる
寛容にであった子どもは
忍耐をおぼえる
賞賛を受けた子どもは
評価することをおぼえる
フェアプレーを経験した子どもは
公正をおぼえる
友情を知る子どもは
親切をおぼえる
安心を経験した子どもは
信頼をおぼえる
可愛がられ抱きしめられた子どもは
世界中の愛情を感じることをおぼえる

「発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座」での出会い

(実践編) 講師 《子どもセンターてんぽ》



くまの「ぼんた」です。

理事長 新横浜法律事務所 弁護士 高橋 温

小さな施設2つと電話相談をしている NPO 法人です。

10代後半の子どもたちの一時的な避難場所である子どもシェルターてんぽ(定員男女6名)を始めて、その後、居場所のない子どもの電話相談(月～金13:00～15:00)と自立援助ホームみずきの家(定員女子6名)も活動に加えました。子どもたち自身の選択による自立を支援することを目的に、安全・安心・清潔な住まいとおいしい食事を提供し、利用する子どもの人権を守り、一人ひとりの自立に向けたペースを尊重し、いつも真剣にねばり強く寄り添い、子どもが望む限り支援を継続します。これまでに退所した子は200人を超えます。困っている子どもたちに私たちの存在が届くよう、お知り合いに私たちの活動を伝えていただけると大変助かります。

<https://www.tempo-kanagawa.org/>

(基礎編) 受講修了生 《鉄道子ども会》

代表 竹内 敏浩

鉄道子ども会は2009年に活動をスタートしました。登録者数約80名、ボランティア20名で横浜を中心に活動しています。参加者はいずれも鉄道好きの小中学生です。

11月1日海老名市の市政記念日の日に、4名のスタッフと鉄道模型の運転や、電車や建物のペーパークラフト製作、また最後には「鉄道クイズもおこなって、みんなで盛り上がりました。クイズはなかなか難問でできなかった子は、悔しがっていました。

これまでの鉄道子ども会の参加者とは違う、学童保育所の子どもたちとのコラボレーションで新しい気づきや活動の広がりの可能性を感じました。

<https://rail-fan.jp/>



学童保育所 びなもーる 便り



★びなもーるニュース★ びなもーるでは、日々の保育の中に、多様な活動を取り入れています。



7月29日(金) 夏祭りラリー
事前準備も万全に、中央保育室や戸外を会場に賑やかな一日でした。

8月5日(金) オギノパン・服部牧場
初めての大型バス。揚げパン、ジェラート、動物との触れ合いでお腹も心も満たされた一日でした。



10月19日(水) 腕相撲大会
1年生が発案。全学年トーナメント方式で「腕相撲大会」、優勝者は小2女児でした。



10月24日(月) 絵手紙
小島綾先生のご指導の下、季節の題材(枝豆、かぼちゃ)をよく観察して仕上げました。

※朱地に白文
字になるのが「白文」



9月26日(月) 篆刻
篆刻の中の「白文」というはんこを作りました。



10月27日(木)・28日(金) ペープサート
「あお、うみ、そら」シリーズのハロウィン版。3年生による出前(イオン・中央)上演をしました。



びな・フィーカ(土)
(月1~2回程度)
感覚教育、昼食作り、買い物体験、工作。少人数でゆつくり時間が過ぎていきます。

～ゲームについて～



今ではゲームと言えば、スマホやDSなどのコンピューターゲームを思い出しますが、一人で行うものが多く現実ではありません。家族で楽しむなら、トランプやオセロや将棋などが良いと思います。トランプのスピードやページワンは速さを競いますが、ババ抜きや7ならべなどは、ゆつくり取り組むことができます。オセロや将棋などで考えることは子どもの発達にとっては大切な経験です。待っている人は、ゆつくり考えられると嫌ですが、子どもには待つことの練習になります。どのゲームを行うかは、子どもと話し合って決めるとよいと思います。大切なことは一緒に楽しい時間を過ごすことです。

びなもーる
スーパーバイザー

臨床心理士 松下 博

ただいま！お帰りなさい！

土日企画の「フィーカ」や「体験学習」も、感染症予防対策を行い少人数で進めています。参加した子どもから、普段とは違う新たな一面を発見できる事もあり、少人数ならではの良さもあります。

夏休み企画のオギノパン工場と服部牧場行きでは、縦割りでグループを作り、5・6年生がリーダーとなり行動を共にしました。下の学年の面倒を見て声を掛け合う姿に大きな成長を感じ、また出来立ての揚げパンにかぶりつく無邪気な子どもたちの表情に、支援員もほっこり癒される事もありました。

服部牧場では、餌をあげたり広場で思いっきり走り回ったり、子どもたちの元気いっぱい声が響き渡りました。

今後も安全対策を行い居心地の良い場所となるよう、努めて参ります。

びなもーる支援員 石川 佐織

《びなもーるイオン 支援員募集》

※詳細は TEL/FAX 046-205-4068
(学童保育所)へお問い合わせください。

★NPO 法人 びなシップ活動ニュース★



新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、様々な工夫をしながら、開催可能な活動を実施しています。

《ボランティア・ひろば》



9月3日(土)

「スケジュール管理」について学び、「ラジオ体操」、「難解な漢字クイズ」に挑戦しました。

11月5日(土)

初の外出、参加者は4名、お天気にも恵まれ、町田市立国際版画美術館へ行きました。お昼は、美術館の中の喫茶店で「カレーライス」を食べました。

漢字クイズ

「海豚」の読みは？

- ① アシカ
- ② イルカ
- ③ トド

正解は②



《体験学習》



10月2日(日) 稲刈り

春に田植えをした田んぼで稲刈りをしました。

参加した、新井拓真さん(小5)は学校の自主学習として、講師の小島善和先生がお話してくださった「竹の花が咲く時」についてまとめました。



《びな・ひろば》

8月20日(土)パン作り

ビナレッジ調理室で行いました。ピザも作ってみんなで美味しく食べました。

10月8日(土)スイートポテト作り

同じ調理室で美味しいスイートポテトを作りました。



～4つの「かえる」～

- 1 ふりかえる
- 2 かんがえる
- 3 きりかえる
- 4 みちがえる



子どもたちに伝えたい「かえる」です。特に「うまくいかない」「失敗ばかりしてしまう」というときに思い出してほしい「かえる」です。1.振り返る力がつくと、それをもとに2.考えることができます。そして3.切り替え、違うやり方を試みる。すると4.見違えるような自分に出会えますよ。

先輩から教えてもらった4つの「かえる」は、私が行き詰ったときにとケロケロと警告をならしてくれます。まずは振り返る力をつけましょう。

インクル・ひろば担当 山口知子

《インクル・ひろば》

総勢8名、山口知子先生を中心に、大学生のお兄さん、お姉さんも加わり一人ひとり自分の学習スタイルを構築しています。



2022年度 びなシップの活動予定



| | |
|---------------|--|
| 《びな・ひろば》 | 12/11 (日) クリスマスクッキー作り 2023/1/29 (日) お正月遊び・座禅 3/18 (土) ぼたもち |
| 《ボランティア・ひろば》 | 2023/2/4 (土) |
| 《インクル・ひろば》 | 月4回木曜日開催 |
| 《びな・スーパービジョン》 | 2023/1/24 (火) 2/27 (月) |



【会場】 今年度は、インクル・ひろば、びな・スーパービジョンは「びなもーる」
その他の活動は「びなもーるイオン」や「ビナレッジ」等の予定

【申込み】 FAX・Emailで事務局へお願いします。

*新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴い、事業の縮小や中止等の可能性があります。

《第9回びな・セミナーのお知らせ》初のリモート開催をいたします！

テーマ：「気になる子どもを困る子どもにしないために」



*長年子どもたちの療育指導に携わっていらっしゃる先生に、
子どもたちが置かれた状況の理解と具体的な支援についてご講演いただきます。

日時：2023年2月18日(土) 午後1時～3時 定員：30名

講師：安倍陽子氏 横浜市東部地域療育センター 公認心理師 臨床心理士

対象：子育て支援、教育、福祉その他支援に携わっている方、テーマに関心のある方

参加費：会員 1,300円 一般 2,300円

*参加申込、参加費納入締め切り 2023年1月31日(火)

振込確認後、連絡先Emailに、「ミーティングID・パスコード」をお知らせします。

*第9回セミナー申込みと明記し、氏名、職種/所属、連絡先(住所、電話/ファクシミリ、Email)を記載し、
事務局ファクシミリ 046-205-4068、または、Email : bina0225@outlook.jp まで
団体のホームページからもお申込みができます。⇒ <https://bina-ship.com/>

～編集後記～

ニュースレター第15号をお届けします。

私は主に法人の活動としては、「ボランティア・ひろば」を担当しています。年に数回とはいえ、メンバーの状況を観つつ、プログラムを考えます。そして心がけていることは、「ちょっとの初めてを経験する」ことです。11月5日には初めての外出のプログラムを実施しました。参加者からの声に耳を傾け、そろそろ次年度のことも考えたいと思っています。

ニュースレターに関する、ご意見、ご感想、当法人の事業についてのご意見など、お気軽にお寄せください。

事務局：彦根倫子

《ボランティアスタッフ募集！》

びな・ひろばを始めとする、NPOの活動のボランティアスタッフを募集しています。

詳細は下記までお気軽にお問い合わせください。

★事務局★

住所：〒243-0419

海老名市大谷北3-21-24

TEL/FAX：046-205-4068

(学童保育所開所中)

Mail : binamall3225@gmail.com

<https://bina-ship.com/>

